

## 栃木県大田原市が育鵬社版の歴史教科書及び公民教科書を採択したことに抗議し、採択の撤回を要求する

本年7月15日、栃木県大田原市の教育委員会は、2012年4月から公立中学校で使用する教科書として、いわゆるつくる会系の、育鵬社版歴史教科書及び公民教科書を採択した。

育鵬社版の歴史教科書及び公民教科書は、天皇中心の考え方にに基づき人びとの暮らしに目を向けず、アジア諸国を蔑視し、日本国憲法を押し付けられた憲法であって「改正」すべきものと教え、自衛隊を海外に派遣する必要性を強調するものである。それは一言でいえば、「戦争をする国」を担う国民を育成しようとする教科書である。

大田原市の教育委員会は、これまで3回にわたって、「つくる会」系の歴史教科書及び公民教科書を採択しているが、いずれも市民から強い反対を受けている。

同教育委員会の教科書採択は、このような強い反対を無視したものであり、子どもと日本の現在と将来に重大な問題を引き起こし、国内はもちろん、アジア近隣諸国からも厳しい批判を受けることは確実である。

われわれ自由法曹団は、同教育委員会が育鵬社版の歴史教科書及び公民教科書を採択したことに對し、抗議し、ただちにこの採択を撤回し、改めて十分な調査研究に基づく採択をやり直すことを要求するものである。

2011年7月20日

自 由 法 曹 団  
団 長 菊 地 紘